

別記の 嘆息書

一 借金低下ヲセザルコト

二 積立制度ヲ撤廃シ非常時計給トセラシタリ

三 最低積立金ヲ制定セラシタリ (最低三回)

四 工場主ノ都合ニヨリ臨時ノ場合ハ日給全額支給セラシタリ

五 残業手当ヲ一時間ニ付五割支給セラシタリ

六 労働者共ヲ月一回支給セラシタリ

七 退職手当額ヲ確立セラシタリ (一ヶ年ニ付一ヶ月)

八 勤労者共ヲ支給セラシタリ

九 職長ノ残業負ノ互譲トセラシタリ

一〇 公傷ニ対スル手当額ヲ確立セラシタリ

昭和六年九月十五日

後藤貞一印

深井木工所 収

別記の 誓書

一 積立制度ハ現在ノ低トシ最低日給ヲ金一円八十銭トス但し業態(技能ノ意定)ニ

依リ等級ヲ定ムコト

二 臨時休業ノ場合ハ従業員ニ対シ日給ノ四分ヲ支給ス

三 残業手当ヲ支給ス

但し一日残業(三時間)ノ場合ハ五分五厘三日連続ノ場合ハ日給一日分トス

四 労働者共期未償出ノ後前通リ支給ス

五 退職手当公傷手当ハ一ヶ月以内ニ制定スルコト

六 各個人別和六年九月十六日工場主深井竹太郎 組合代表者川大鉄、従業員代表

者高橋茂平、沢田謙三郎、八木吉郎、土岐常徳之介、上根徳次郎等ノ約シ誓書

ヲ各自一箇宛別名所持スルコト又

昭和六年九月十五日

両名代表署名者 指印